

学校教育目標	やさしく思いやりのある子、よく考えて進んで学ぶ子、ねばり強く元気な子、笑顔であいさつのできる子
目指す学校像	明るい学校、学びのある学校、きれいな学校、楽しい学校

重点目標	1 さいたま市スマート・スクール・プロジェクトによる教育指導の一層の水準向上を図る。 2 一人ひとりの教師力を高めるとともに、機動力のある組織をつくる。 3 家庭・地域等との連携を図り、相互理解と信頼のもとに学校教育を推進する。 4 安全・安心な環境を整備し、希望をはぐくむ教育を推進する。 5 教職員一人ひとりのウェルビーイング (Well-Being) の向上を図る。
------	--

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○令和7年度の全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査では市の平均に達していない。 ○対話的・協働的な学習活動を取り入れ、モデリングによる学習への見通し、3人グループ等による学習活動などが日常的に行われるようになっている。 (課題) ○自分の考えを表現する力の育成。 ○話を聞いて理解する力の育成。 ○ICTを活用した自立した学びの推進。 ○カリマネデザインマップを活用した教科横断的な学びの推進。 ○読書活動の推進。	「自分の考えを表現する力」「話を聞いて理解する力」の育成に向けた授業改善	①気付きの共有、ペアトーク等で表現する場を増やす。 ②思考ツールや3語でまとめるキーワードメモ等により、思考を見える化する。 ③聞く目的を明確にした指導を行う。 ④学習目標を明確にし、事実を聴き取る、理由を聴き取る、考えを比較するなど、段階的な指導を行う。	①学びの指標 (R7 考える時間 3.43、試行錯誤 3.21、友達の考え参照 3.27) の維持・向上 ②学校評価(児童)自分の考えを表現している (R7:83.7%)、学校評価(教職員) (R7 よく考えて進んで学ぶ子の育成 3.5、主体的・協働的な学び 3.5) の維持・向上			
		探究的な学び、自立した学びの楽しさを実感できる授業改善	①ICTを効果的に活用し、進んで調べたり、工夫してまとめたり、友達と交流したり、発表したりする学習を行う。 ②教科横断的に学びを関連させ、学びの質を高めていくとともに、関連図書などの読書活動を推進する。	①学びの指標 (R7 目標の自己決定 3.06、教科横断的学び 3.15) の維持・向上 ②学校評価(児童) ICTを活用した学力向上 R7:96.1%、(教職員) 個を生かす教育 (R7:3.6) の維持・向上 ③図書室の一人平均貸出冊数/月 (R7:4.0冊) の維持・向上			
2	(現状) ○「笑顔であいさつ」が浸透し、進んで気持ちのよいあいさつのできる児童が多い。 ○異学年・男女混ざって遊ぶ児童が多い。 ○清掃活動にまじめに取り組む児童が多い。 (課題) ○児童一人ひとりの状況を的確に把握し、適切なタイミングで組織的に支援・相談していく体制、仕組みづくりの推進。	児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談・対応に向けた校内体制の充実	①情報端末を活用して児童向けアンケートや面談等の記録を蓄積し、児童一人ひとりの状況を継続的に把握できるようにする。 ②いじめや心配な状況を把握した場合には、「児童生徒の心のサポート手引き いじめに係る対応」に基づき、管理職の指示の下、迅速かつ適切に対応し、解決の方向性を関係者に明確に示す。	①教育相談に関する学校評価の肯定的評価 (R7 児童 80.4%、保護者 93%、教職員 3.7) の維持・向上 ②学校評価(教職員) 「児童生徒の心のサポート手引き いじめに係る対応」を活用し、迅速かつ適切に対応できたか (R7:3.6)。事案発生時は、当日中に管理職の指示の下、役割分担し組織的に対応し、解決の方向性を関係者に明確に示すことができる体制の維持。			
		あいさつ運動や開校50周年記念事業等を生かした児童が主体的に活動する教育活動の展開	①近隣中学校と連携したあいさつ運動等、保護者や地域と結びついた取組を継続していく。 ②児童の主体的な取組を推進し、各学級でも取組についての話し合いを充実させ、その集約機関として児童会が機能し、具体的な活動につながるような体制をつくる。	①あいさつに関する学校評価の肯定的評価 (R7 児童 89.57%、保護者 82%、教職員 3.7) の維持・向上 ②学校評価(教職員) 特別活動において、児童が主体的に活動するよう努めたか。(R7:3.5) の維持・向上			
3	(現状) ○小・中・高校が連携してあいさつ運動を推進し、登下校の様子から、あいさつが年々よくなっているとの声をいただいている。 ○地域の防犯ボランティアの皆様、保護者の皆様のご協力のもと、たくさんの方々に児童の登下校の見守りのご協力をいただいている。 (課題) ○学校と保護者、地域が共通の課題認識をもち、問題解決に取り組む学校づくりの推進。	地域の特色や人材を活かした問題解決に取り組む学校づくり	①本校の教育活動について学校ホームページで情報発信していく。 ②PTAを主体とした周年行事実行委員会や学校運営協議会と連携し、開校50周年記念事業を実施する。	①学校ホームページでブログの更新を課業日の8割以上で実施。 ②周年行事実行委員会や学校運営協議会と連携した開校50周年記念事業の実現。			
		安心・安全で落ち着いた教育環境整備の実現	①清掃指導・安全点検の確実な実施と修繕等の迅速な対応により施設の維持管理を行う。 ②文書・個人情報の保管状況等について点検し、教職員事故防止を徹底する。	①学校評価(教職員) (R7 安全点検 3.6、校内美化 3.9)、(保護者) (R7 安全・校内美化 90%) の維持・向上 ②学校評価(教職員) (R7 文書・個人情報の適切な管理 3.6) の維持・向上			
5	(現状) ○教職員は熱心に教育に取り組んでおり、児童への対応もよく行っている。 ○教職員はチームワークよく連携し、協力して業務にあたっている。 (課題) ○1か月の時間外在校時間を45時間以内にした健康的に職務に当たれるような職場づくりの推進。	一人ひとりが力を発揮し、誰もが居心地のよいウェルビーイングな学校をつくる学び方・働き方の実現	①一人1回以上の公開授業と年3回以上の教員の相互授業観察を行い、学び高め合う校内研修を推進する。 ②毎週金曜日をノー会議&定時退勤日に設定し、計画的に年休等を取得しやすい環境づくりを行う。 ③時間外在校時間が多い教職員にはヒヤリングを行い、必要に応じて市教委の健康相談等を紹介し、教職員が心身ともに健康的に職務に当たれるようにする。	①協働的に成長しようとする教師集団が継続的に見られている状態。 ②学校評価(教職員) (R7 研修 3.6、コミュニケーション 3.6、チームワーク 3.4、効率的な時間の使い方やメリハリのある働き方 3.4) の維持・向上 ③1か月の時間外在校時間の教職員平均30時間以内の維持 (R7 26.6時間)			

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達やサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

